

## QRコード決済とは

QRコード決済とは、それぞれのサービスの専用アプリを利用して、QRコードやバーコードをスマホで読み取ったり表示したりすることで決済を行うサービスです。



### 1 QRコード決済とは

テレビCMなどで知名度を急速に上げたQRコード決済は、それぞれのQRコード決済サービスの専用アプリをインストールし、支払いの際には、アプリを使ったQRコード／バーコードの表示や読み取り操作が必要です。専用アプリは、AndroidスマホとiPhoneの両方で提供されており、操作方法はほとんど同じです。

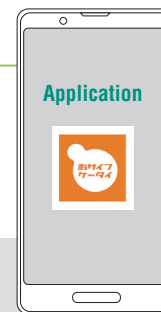
また、QRコード決済サービスは、連携するポイントを貯めて決済に利用することができます。QRコード決済サービスそれぞれで、独自にお得なポイント還元サービスが展開されているので、自分が貯めたいポイントによって利用するサービスを検討するとよいでしょう。

なお、多くのQRコード決済サービスでは、クレジットカードと連携した後払い方式と、銀行口座やコンビニのATM／レジなどからチャージする先払い方式の両方が利用できます。そのほかに、銀行口座を直接登録して決済と同時に即座に引き落としができるサービスもあります。サービスによって登録できるクレジットカードや銀行口座は異なるので、それぞれのサービスのホームページなどで確認しておきましょう。



## おサイフケータイ (電子マネー) とは

非接触型決済の中でも、Androidスマホで利用できるおサイフケータイは、さまざまな電子マネーが利用できて非常に便利です。iPhoneでは利用できないので注意しましょう。



### 1 おサイフケータイとは

おサイフケータイは、電子マネーや会員証、ポイントカードなどを1つのアプリで管理できるAndroidスマホの非接触型決済サービスです。おサイフケータイの利用には、[おサイフケータイ] アプリと利用したい電子マネーサービスのアプリのインストールが必要になります。なお、[おサイフケータイ] アプリは、ほとんどの機種でプリインストールされています。ない場合は、Playストアからインストールできます。利用したい電子マネーサービスの初期設定をしておけば、お店で支払いをするときにアプリを操作しなくても、店員に利用する電子マネーを伝えて専用端末にスマホをかざすだけで支払いが完了します。

また、[おサイフケータイ] アプリからは、登録した電子マネーの残高の確認や履歴の確認ができます。

ただし、おサイフケータイを利用するには、スマホがFeliCaを搭載している必要があります。メーカーのホームページなどでFeliCa搭載またはおサイフケータイ対応と表記があるAndroidスマホであれば利用できるので確認しましょう。



# Google Payや Apple Payって何?

Google PayやApple Payは、それぞれAndroidスマホとiPhoneで利用できるスマホ決済です。[Google Pay] アプリまたは[Wallet] アプリにSuicaやクレジットカードを登録して利用します。



## 1 Google Payとは

Google Payとは、Googleが提供するAndroidスマホで利用できるスマホ決済サービスです。日本のGoogle Payでは、Suica、nanaco、楽天Edy、WAON、QUICPay、iD、VISAのタッチ決済という7つの電子マネーが使えます。おサイフケータイと同様にFeliCa搭載スマホであれば、すべての電子マネーが使用できますが、NFC (type A/B) のみを搭載しているスマホでもVISAのタッチ決済は利用可能です。支払いの際は、決済で使う電子マネーサービス名を店員に伝え、専用端末にAndroidスマホをかざします。おサイフケータイは、[おサイフケータイ] アプリのほかに電子マネーサービスのアプリが必要でしたが、Google Payは、[Google Pay] アプリだけで登録した電子マネーの残高の確認や履歴の確認、チャージなどの操作ができます。ただし、オートチャージには対応していないため、オートチャージを利用したい場合は電子マネーサービスのアプリをインストールしましょう。

### ● Google Payで利用できる7つのサービス



## Apple Payとは

Apple Payとは、Appleが提供するiPhoneで利用可能なスマホ決済サービスです。利用できる機種はiPhone 7以降に発売されたすべての機種となっています。プリインストールされている[Wallet] アプリにクレジットカードやSuicaを登録することですぐに利用できます。

クレジットカードを登録すると、自動的に電子マネーのiDもしくはQUICPayが指定されるので、お店で支払いをするときは店員に「iDで」もしくは「QUICPayで」と伝えて専用端末にiPhoneをかざして決済を行います。

なお、支払いの際に[Wallet] アプリを操作したり、iPhoneのロックを解除したりする必要はありませんが、Touch ID (指紋認証) またはFace ID (顔認証) による認証が必要になります。

また、[Wallet] アプリからSuicaの発行をしたり、手持ちのSuicaを登録したりすることで、電車やバスの乗り降りもスマホをかざすだけで完結します。Suicaをエクスプレスカードに設定しておく、Touch IDやFace IDの認証も不要になります。

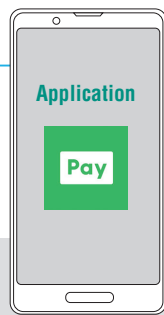
### ● Apple Payで利用できる3つのサービス



<https://www.apple.com/jp/apple-pay/>

# LINE Payとは

LINEの決済サービスであるLINE Payは、LINEのアカウントがあれば誰でも利用できる手軽さが人気のコード決済サービスです。クレジットカードを持っていなくても利用できます。



## LINEの決済サービス

LINE Payは、友だちとトークが楽しめるコミュニケーションアプリLINEの決済機能として2014年12月にサービスを開始しました。LINEのアカウントがあれば、すぐに利用を始められる手軽さが人気となっています。なお、決済を含めたLINE Payのすべての機能を[LINE]アプリから利用することができますが、決済機能に特化した[LINE Pay]アプリを使うと、よりすばやくQRコードの表示や読み取りが可能になります。

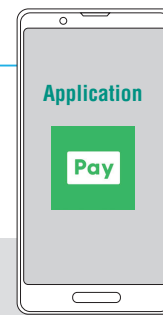
## 入金・決済方法

LINE Payの決済方法には、LINE Pay残高にお金をチャージしてから使う前払い方式と、登録したクレジットカードにあとから請求される後払い方式があります。しかし、後払いの場合、街中でコード決済をする場合はVisa LINE Payクレジットカード以外のクレジットカードへ請求することができないことになっています。そのため、Visa LINE Payクレジットカードを持っていないときは、登録した銀行口座やセブン銀行ATM、東急線券売機などでLINE Pay残高にチャージしてから決済を利用しましょう。

前払い（LINE Pay残高）		後払い
銀行口座	現金	クレジットカード
○	○ (セブン銀行ATM、QRコード／バーコード、LINE Payカード、Famiポート、東急線券売機)	△ (Visa LINE Payクレジットカードのみ)

# 特徴を確認して賢く使う

LINE Payの基本的な利用方法は、店舗でQRコードを提示したり、読み取ったりして支払うコード決済ですが、LINE PayカードやVisa LINE Payクレジットカードを発行するとより便利になります。



## LINE Payカードを発行できる

LINE Payカードを発行（P.43参照）すると、国内外のJCB加盟店でLINE Pay残高が利用できるようになります。また、Androidスマホでバーチャルカードを発行すると、Google Payに登録することで、全国のQUICPay+ 加盟店での支払いにも使えます。利用できる場所が増えるだけでなく、LINE Pay残高から利用するプリペイドカードなので使い過ぎの予防にもなります。

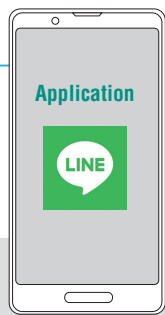
## Visa LINE Payクレジットカードがあれば使えば使うほどお得になる

Visa LINE PayクレジットカードをLINE Payアカウントに登録し、支払いに「チャージ&ペイ」機能を利用すると、LINEポイントクラブのポイント還元を受けることができます。LINEポイントクラブは、過去6カ月のポイント獲得数に応じてマイランクが変動し、ランクが上がるとポイント還元率が高くなります。使えば使うほどお得になるので、日常の支払いをLINE Payに集約するとよいでしょう。なお、LINE Pay残高にチャージした金額から支払いをした場合は、ポイントを貯めることができません。

支払い方法	LINE Pay 残高	チャージ&ペイ			
		レギュラー	シルバー	ゴールド	プラチナ
マイランク	—	レギュラー	シルバー	ゴールド	プラチナ
ポイント還元率	0%	1%	1.5%	2%	3%
ランクアップ条件	—	過去6カ月で0～99ポイント獲得	過去6カ月で100～499ポイント獲得	過去6カ月で500～4,999ポイント獲得	過去6カ月で5,000ポイント以上獲得

# 利用を開始する

LINE Payは、[LINE] アプリのウォレット画面からすぐに登録することができます。LINE Payのパスワードの登録は任意ですが、決済を行うときなどに必要になるので先に登録しておきましょう。



## LINE Payの利用登録をする

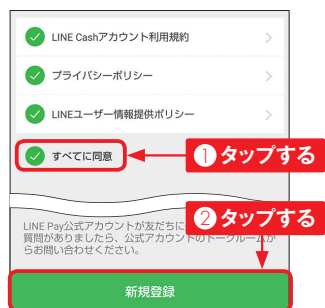
- [LINE]アプリを起動し、＜ウォレット＞をタップして、＜今すぐLINE Payをはじめる＞をタップします。



- ＜はじめる＞をタップします。



- ＜すべてに同意＞をタップし、＜新規登録＞をタップします。

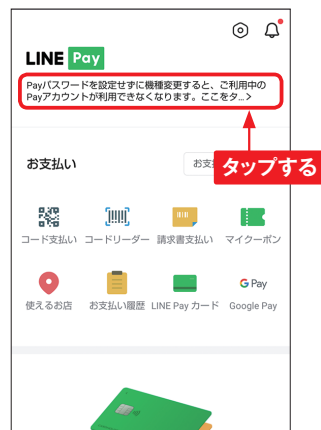


- 登録が完了し、「LINE Pay」画面が表示されます。なお、Facebookログインなど、LINEに電話番号を登録していない場合は、電話番号の認証が必要になります。



## パスワードを設定する

- 左ページ手順④の画面で＜Payパスワードを設定せずに機種変更すると、ご利用中のPayアカウントが利用できなくなります。ここをタ…＞をタップします。



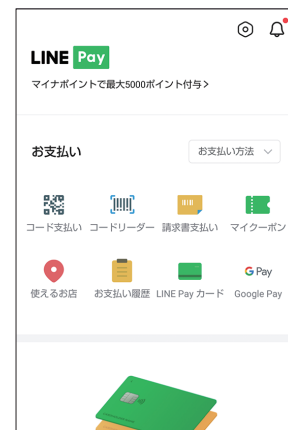
- LINE Payで利用する6桁のパスワードを入力します。



- 手順②で入力したものと同じパスワードを入力します。

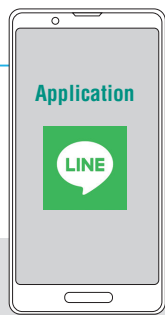


- パスワードの設定が完了します。指紋認証機能があるスマホでは、このあと、パスワード入力の代わりに指紋認証を利用する設定画面が表示されます。



# チャージする

LINE Pay残高へのチャージには、さまざまな方法が用意されています。Sec.15で登録した銀行口座以外にも、セブン銀行ATMやFamiポートといったコンビニでチャージすることができます。



## 銀行口座からチャージする

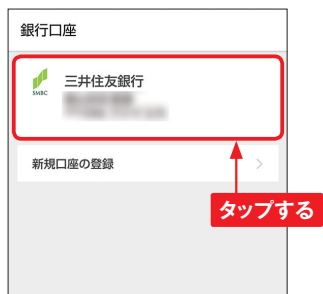
- ① 「LINE Pay」画面（P.33参照）で＜チャージ＞をタップします。



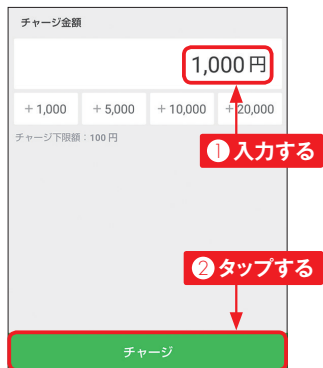
- ② ＜銀行口座＞をタップします。



- ③ チャージに利用する銀行口座をタップします。



- ④ チャージ金額を入力し、＜チャージ＞をタップします。



## セブン銀行ATMからチャージする

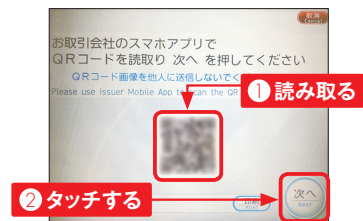
- ① セブン銀行ATMで＜スマートフォンでの取引＞をタッチします。



- ② P.38手順②の画面で＜セブン銀行ATM＞→＜次へ＞の順にタップします。



- ③ セブン銀行ATMに表示されるQRコードを読み取り＜次へ＞をタッチし、スマホに表示される4桁の企業番号を入力して、＜確認＞をタッチします。チャージする紙幣を入れ、＜確認＞をタッチします。



## Famiポートからチャージする

- ① P.38手順②の画面で＜Famiポート＞をタップします。



- ② 姓名とチャージ金額を入力し、＜チャージ＞をタップします。



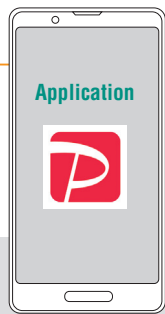
- ③ 受付番号、予約番号（申込番号）が発行されます。Famiポートで＜代金支払い＞→＜イーコンテクト（インターネット受付）＞→＜番号を入力する＞の順にタッチし、画面に従って手続きをします。レジでチャージ金額を支払うとチャージ完了です。

- ・ 受付番号: [redacted]
- ・ 予約番号(申込番号): [redacted]
- ・ 払込期限: 2020.08.06 16:17
- ・ 利用可能なコンビニ



# 便利機能を利用する

PayPayをお得に利用したいときは、外部サービスとの連携がおすす  
めです。また、クレジットカードの本人認証をすることで1か月の  
利用上限金額を引き上げることができます。



## Tポイントと連携する

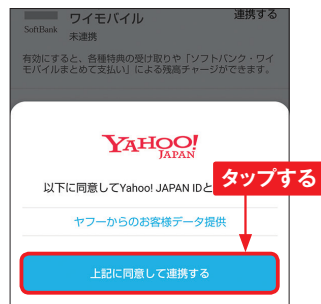
1 「ホーム」画面で<Tカード>をタ  
ップします。



2 <有効にする>→<今すぐ連携  
する>の順にタップします。



3 <上記に同意して連携する>を  
タップします。



4 Yahoo! JAPAN IDを持っている  
場合はログインします。ここでは、  
<IDを新しく取得する>をタップし  
てYahoo! JAPAN IDを作成しま  
す。



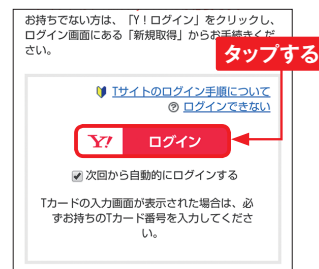
5 <通常のID登録>をタップし、画  
面に従って登録します。ソフトバ  
ンクユーザーはスマートログイン  
でID登録>をタップすると登録が  
かんたんにできます。



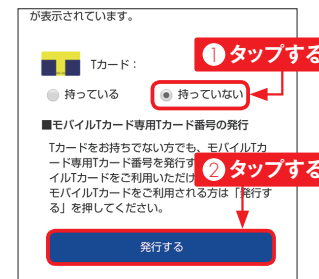
6 Yahoo! JAPAN IDの登録が完  
了するとPayPayに戻り、「Yahoo!  
JAPAN ID連携が完了しました!」  
と表示されるので<閉じる>をタ  
ップします。



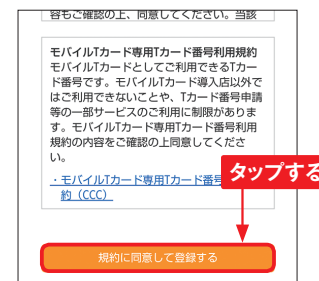
7 WebブラウザでTサイト (http://  
tsite.jp/) にアクセスし、<ログ  
イン>→<Y!ログイン>の順に  
タップします。



8 ここでは、モバイルTカード専用T  
カード番号を発行します。<持っ  
ていない>をタップし、<発行す  
る>をタップします。



9 氏名、電話番号、住所などを入  
力し、規約を確認して<規約に  
同意して登録する>→<登録す  
る>の順にタップします。

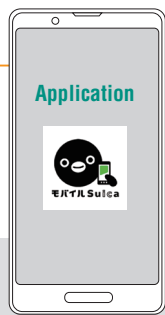


10 [PayPay] アプリの「ホーム」  
画面で<Tカード>をタップし、初  
回は本人確認のため生年月日  
を入力して、<次へ>→<同意す  
る>の順にタップすると、モバ  
イルTカードが表示されます。



# AndroidスマホとiPhoneの モバイルSuica

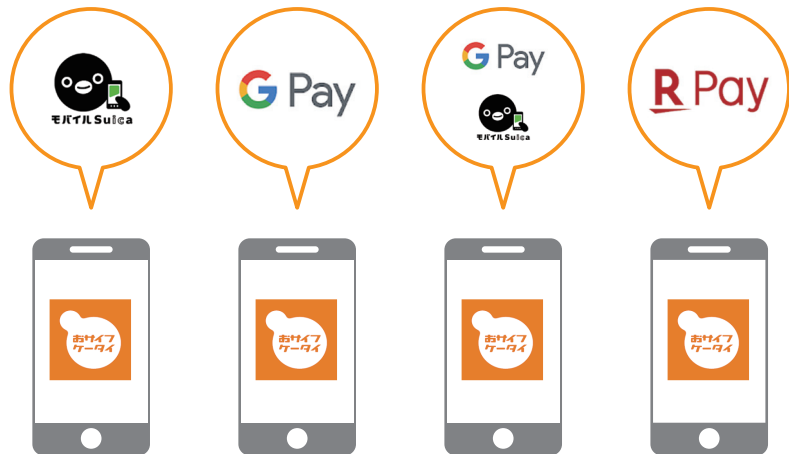
AndroidスマホとiPhoneでは、利用できるモバイルSuicaの種類が異なります。利用開始のために必要となるアプリに違いがあるので、ここで確認しておきましょう。



## Androidスマホで使えるモバイルSuicaの種類

Androidスマホでは、モバイルSuicaの利用に「おサイフケータイ」アプリと「モバイルSuica」アプリを利用する方法と、「おサイフケータイ」アプリと「モバイルSuica」アプリに加えて「Google Pay」アプリを利用する方法などがあります。モバイルSuicaのすべての機能を利用したいときは、「モバイルSuica」アプリのインストールが必要ですが、「Google Pay」アプリからSuicaの新規発行ができるため、「おサイフケータイ」アプリと「Google Pay」アプリのみでも問題ありません。

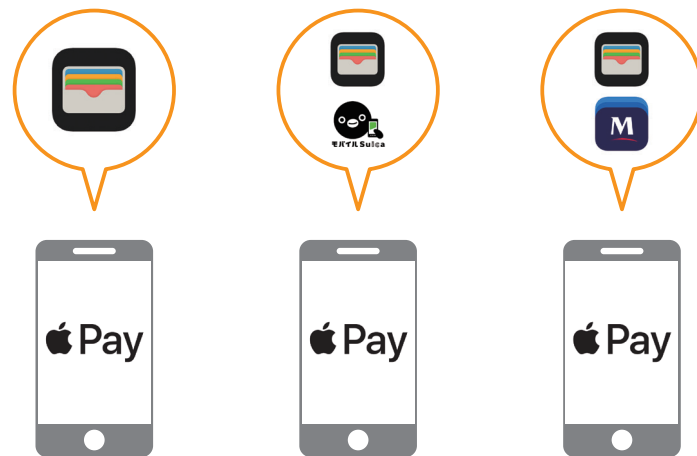
そのほかにも「楽天ペイ」アプリでSuicaの発行ができます。利用中のモバイルSuicaを登録することもできるので、楽天カードからチャージしたい場合に便利です。また、「楽天ペイ」アプリ経由で楽天カードからチャージすると、楽天スーパーポイントが貯められ、JRE POINTと連携することで利用金額に応じてJRE POINTを貯められます。



## iPhoneで使えるモバイルSuicaの種類

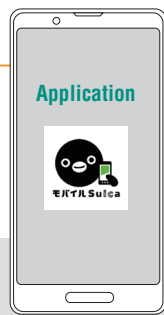
iPhoneでモバイルSuicaを利用するときは、プリインストールされている「Wallet」アプリを利用します。「Wallet」アプリからは、Suicaの新規発行や手持ちのSuicaの取り込み、残高へのチャージなどが行えます。しかし、グリーン券の発行などの機能を利用するには「Suica」アプリが必要です。

また、みずほ銀行口座を持っている場合は、「みずほWallet」アプリから「Mizuho Suica」を発行できます。なお、クレジットカード以外でスマホだけで完結できるチャージができるのは、「みずほWallet」アプリのみずほ銀行口座からのみとなっています。



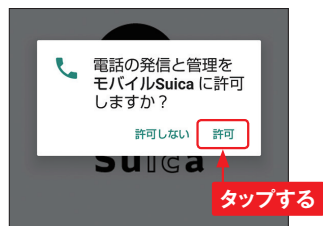
# Androidスマホで 利用を開始する

AndroidスマホでモバイルSuicaの利用を始めるときは、[モバイルSuica] アプリでモバイルSuicaの入会登録をします。ここでは、Suica定期券の切替えについてもあわせて解説します。

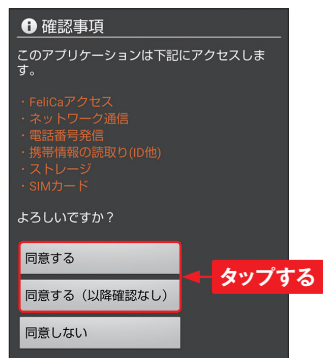


## 【モバイルSuica】アプリでSuicaを発行する

① [モバイルSuica] アプリを起動し、＜許可＞を2回タップします。



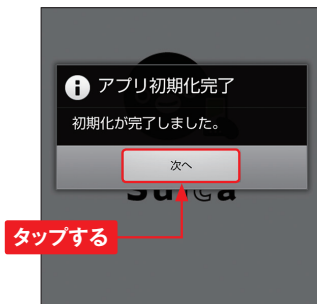
② 「確認事項」画面で＜同意する＞もしくは＜同意する（以降確認なし）＞をタップし、画面の指示に従って操作します。



③ 初期化の確認画面が表示されるので、＜はい＞をタップします。



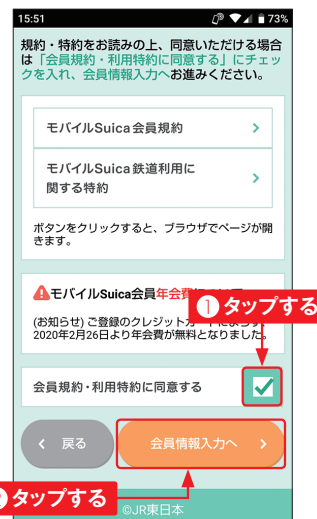
④ ＜次へ＞をタップします。



⑤ 「モバイルSuica」の＜入会登録＞をタップします。



⑥ 「会員規約・利用特約に同意する」にチェックを付け、＜会員情報入力へ＞をタップします。



⑦ 氏名などの会員情報を入力し、＜各種設定へ＞をタップします。



## MEMO EASYモバイルSuicaとは

「EASYモバイルSuica」は、クレジットカードの登録なしで発行できるモバイルSuicaです。クレジットカードを持っていない場合でも、コンビニなどで現金チャージができます。ただし、定期券やSuicaグリーン券の購入、再発行などはできないので注意しましょう。また、クレジットカードを登録すると、通常のモバイルSuicaとして利用できます。





# バッテリーが切れてしまったら？

スマホのキャッシュレス決済は、バッテリーが切れてしまうと、支払いに利用できなくなる場合があります。心配なときはモバイルバッテリーを持ち歩くようにしましょう。



## モバイルSuicaは利用できる場合がある

QRコードを表示して支払いをする「QRコード決済」は、アプリを起動する必要があるため、バッテリーが切れてスマホ画面が表示できなくなると、支払いができません。しかし、モバイルSuicaやメルペイのiD支払い、おサイフケータイ、Google Pay、Apple Payなどの「非接触型決済」は、わずかな電力でも利用できるため、充電が必要になった状態でも決済ができる場合があります。なお、Androidスマホのおサイフケータイは、電池残量が残っていれば電源オフでも利用可能です。また、iPhoneはXS以降の機種には予備電源があるので、モバイルSuicaなどはエクスプレスカードに設定していれば、電池が切れてもしばらくの間は利用できます。たとえば、モバイルSuicaで鉄道を利用中にバッテリーが切れてしまったときは、まず自動改札機にそのままかざしてみます。反応がなく、改札を通れない場合は、駅員にバッテリーが切れてしまったことを申告し、その場合は運賃を現金で支払います。後日、スマホの充電が十分にある状態で駅の窓口で改札入場時のデータを消去してもらいましょう。

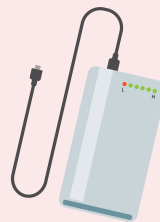


## モバイルバッテリーを持ち歩くと安心

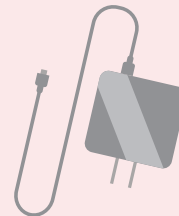
長距離移動があるときや、旅行で1日中外出するときなどは、スマホのバッテリーが切れてしまうことがあります。外出先でモバイルバッテリーを購入できることもありますが、どこでも購入できるわけではありません。また、購入したモバイルバッテリーは十分な充電がされているわけではないので、スマホをフル充電させることはできないこともあります。わずかな電力でも利用できる「非接触型決済」と異なり、「QRコード決済」はアプリを起動してオンラインでコードを表示させるだけの電力が必要です。バッテリーが持つ心配なときは、モバイルバッテリーをあらかじめ購入し、充電をしたうえで持ち歩くようにするとよいでしょう。

万が一、外出中に充電が不足してしまい、モバイルバッテリーも持っていないときは、カフェなどの充電スポットを利用するか、コンビニなどで利用できるモバイルバッテリーのレンタルサービスを利用すると便利です。充電スポットやモバイルバッテリーのレンタルサービスの設置場所は、サービスのホームページなどで確認できます。

### ① モバイルバッテリー



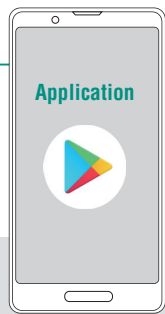
### ② ACアダプター



ChargeSPOT <https://www.chargespot.jp/>

# Androidスマホにアプリをインストールする

QRコード決済やおサイフケータイを利用するために、アプリのインストールを行います。ここでは、Playストアでアプリを入手して、Androidスマホにインストールする方法を紹介します。

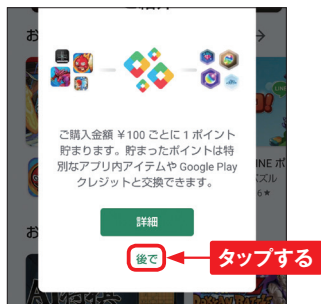


## Androidスマホにアプリをインストールする

① [Playストア] アプリをタップして起動します。



② 「Google Play Pointsのご紹介」画面が表示される場合はく後で>をタップします。



③ 検索欄をタップします。



④ インストールするアプリ名（ここでは「モバイルsuica」）を入力し、Qをタップします。



⑤ インストールするアプリをタップします。



⑥ <インストール>をタップします。



⑦ インストールが完了します。



⑧ ホーム画面もしくはアプリ画面にインストールしたアプリが表示されます。

